

# 2017年度事業計画が決定

当会は、2020年の「ありたき姿の具体像」として「日本の双発エンジンとして日本をリードする」「アジア有数の中核都市圏（ハブ）となる」を掲げ、2012～2020年度の間、3カ年ごとに中期目標を設定し、活動を展開している（第1期：2012～2014年度、第2期：2015～2017年度、第3期：2018～2020年度）。ここでは、第2期中期目標期間の最終年度にあたる2017年度の実業計画を紹介する。

## 2017年度事業計画策定にあたって

2016年の関西経済は、一部に弱い動きが見られたものの、全体としては緩やかに回復した1年となった。しかし、世界に目を転じると、BREXITや米国トランプ新大統領誕生など、グローバル化を牽引してきた大国から相次いで内向きの政策を選択する民意が示されており、世界経済の先行きは不透明感が強まっている。

このような中、資源小国であるわが国が成長を続けるためには、世界の成長市場の活力を取り込むことが必要であり、グローバリゼーションの流れが止まらないよう、わが国は自由・公正な貿易ルールづくりに先導的な役割を果たすべきである。そのため、わが国は自らの成長力を高めることで、国際社会の中で存在感を発揮する国にならないといけない。

しかし、人口減少社会に突入したわが国が縮小のスパイラルに抗って成長力を高めるのは容易なことではない。これを実現するためには、東京一極集中モデルに代表される従来の発展モデルから脱却し、地方の魅力や人材の強みを最大限に引き出すことにより、すべての地域・人が活躍できるダイバーシティに富む社会を構築する必要がある。安倍政権が掲げる「地方創生」や「働き方改革」は、まさにダイバーシティに富む社会を構築するために必要不可欠な取り組みであり、関西経済界としてもその実現に向けて積極的

に貢献していく。

当会では、2012年に「日本の双発エンジンとして日本をリードする」「アジア有数の中核都市圏（ハブ）となる」という、2020年の関西の「ありたき姿」を設定した。この「ありたき姿」の実現に向けて、2015年度から2017年度までの第2期中期目標では、「東京一極集中是正と地方創生をリードする関西モデルの構築」「世界トップレベルのイノベーション拠点への成長」「アジアとの人・ビジネスの交流拡大・連携強化による活力ある地域への成長」の3つを掲げ、第1期で構築した基盤を活用し、具体的かつ実践的な活動を推進している（表1）。

第2期中期目標期間の最終年度にあたる2017年度は、昨年度と同様、「複眼型国土の形成」「健康・医療イノベーション創出」「インバウンド観光の推進」「アジアでのビジネス機会創出」の4つを重点事業とし、環境変化をふまえながら、それぞれの活動を充実させるとともに、新たに「スポーツ振興」を加えた計13の事業を展開する（表2）。

「スポーツ振興」については、2019～2021年に控えるゴールデン・スポーツイヤーズ等を視野に入れ、関西の実態や課題を調査するとともに、関西広域連合やほかの経済団体等との連携のあり方を含め、関関連としての戦略を検討していく。

〈表1 2020年に向けた各中期目標期間の位置付け〉



また、そのほかの重点取り組み項目として、2025年の国際博覧会の誘致活動にも取り組み、「2025日本万国博覧会誘致委員会」(会長：榊原定征 日本経済団体連合会会長)と一体となって、国内の気運醸成や海外へのPR活動を展開していく。

当会は本年度も、実行と実現、そしてスピードにこだわり、関西から日本の未来を切り拓いていく。

(企画広報部 川戸洞英次)

〈表2 2017年度事業項目〉 ★赤字は重点事業 重点事業のみ主な取り組みを一部記載

## 1 東京一極集中是正と地方創生をリードする関西モデルの構築

### (1) 複眼型国土の形成と広域交通・物流ネットワークの整備・強化 ★

- 複眼型スーパー・メガリージョンの実現に向けた構想具体化と提案の実施
- リニア中央新幹線の早期全線開業、北陸新幹線の大阪早期開業、関西の高速道路ミッシングリンク解消の推進

(2) 地方創生をリードする関西モデルの構築に向けた取り組み

(3) スポーツ振興による関西の活性化

(4) 経済成長の根幹を担う電力の低廉かつ安定的な供給と現実的なエネルギーミックス、環境政策の推進

(5) 財政健全化と経済成長の両立に向けた中長期的な経済財政運営の実現

(6) 競争力・企業存立基盤の強化に資する法制度・会計制度等への対応

(7) 実効性ある働き方改革の実現に向けた雇用・労働環境の整備

## 2 世界トップレベルのイノベーション拠点への成長

### (8) 健康・医療イノベーション創出による健康・医療産業発展および健康社会の実現 ★

- 「生き生き関西“健康・医療”先進地域ビジョン」に基づくアクションプランの実行
- 「関西健康・医療創生会議」との連携強化による産学官民の共通課題の解決

(9) 人・企業を呼び込む魅力あるまちづくり

(10) 関西の強みを活かしたものづくり産業のイノベーション拠点の形成

## 3 アジアとの人・ビジネスの交流拡大・連携強化による活力ある地域への成長

### (11) 「KANSAI国際観光指針」に基づくインバウンド観光の推進 ★

- 関西観光本部と連携したインバウンド施策の実施
- ゴールデン・スポーツイヤーズや国際イベント等を活用した「はなやか関西」ブランドの発信

### (12) 親関西人材の拡大・アジアの諸課題解決への貢献を通じたビジネス機会創出 ★

- アジアの将来を担う行政官や経済人に対する人材育成支援
- ものづくり・環境・防災・観光分野等のビジネス拡大に向けたアクションの実施

(13) 国際社会のパラダイムシフトへの的確な対応による国際競争力の確保

## 4 その他

〈重点取り組み事項〉

- 2025日本万国博覧会誘致委員会と一体となった国内気運醸成と海外PRの実施

〈事業活動のベースとしての取り組み〉

- 関西財界セミナーの企画・運営
- 地域サポーター制度に基づく関西2府8県の地域の実情や要望事項の把握、当会事業との関係強化
- マスコミ、機関誌等を通じた広報活動による当会活動内容や主張の発信
- 次期中期目標の策定、将来の事業化を見据えた諸課題の調査・研究